

TOPICS

日本マイクロソフト株式会社と連携協定を締結 5/20

香川大学と日本マイクロソフト株式会社は、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進人材育成を通じて、大学改革と地域活性化に寄与することを目的に連携協定を締結しました。

本協定の締結により、香川大学が有するデザ

イン思考教育やDX推進に関するノウハウと、日本マイクロソフト株式会社が有する最新のデジタル技術やデジタル人材育成の仕組みを組み合わせることで、DX人材育成や大学改革、地域活性化など幅広い取り組みを実施します。



調印式の様子（左から日本マイクロソフト株式会社執行役員常務 佐藤亮太氏、寛善行学長）

香川大学金融人材養成セミナー 5/25

金融庁長官 中島淳一氏、公益社団法人日本証券アナリスト協会専務理事 神津多可思氏をお招きし、香川大学金融人材養成セミナーを開催しました。

210名の学生等が参加し、中島氏の基調講演「金融の楽しさ、大切さを学ぼう」に熱心

に耳を傾けていました。また、基調講演後には、中島氏と神津氏との対談「プロ金融人材の育成について」も実現いたしました。90分という短い時間でしたが、学生からの質問にも丁寧にお答えいただくなど非常に充実した内容の濃いセミナーとなりました。



金融庁長官 中島淳一氏による基調講演の様子

ネクストプログラム・グローバル人材育成プログラム 派遣学生の留学に係る壮行会・懇談会を実施 6/1

今年度はカリフォルニア州立大学フラトン校3名、国立政治大学4名、中国文化大学1名、真理大学2名（計10名）の派遣学生が留学します。コロナ禍により留学が中断していたため、2年2ヶ月ぶりの壮行会開催となりました。

寛学長から、自分の中の情熱に気づく良い機会になるので、元気で頑張ってきてもらいたいと学生に向けて激励の挨拶がありました。

留学する学生は、コロナ禍の影響で一時は断念しかかったが、再び機会を与えていただけたことに感謝したい。世界との架け橋になれるような人材になりたい。と、留学に対する抱負を述べました。

経験のある教員への質問や、英語・中国語による留学生活に対する決意表明等、終始和やかな雰囲気懇談が行われました。



派遣学生と教員らによる記念撮影



懇談の様子

学生応援デー初日！1年生にうどんを提供！ 6/14

幸町キャンパスにおいて、経済的に困窮している学生支援の第一弾として、1年生を応援するためにうどんと希少糖入りキャラメルを提供しました。

本支援は、昨年度実施したワンコイン弁当のアンケート結果から、次年度以降も同様の支援を望む声が多く聞かれたことから企画したもので、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「新型コロナウイルス感染症対策助成事業」を活用するとともに香川大学校友会の支援により実施しました。

当日は、事前申請があった100人を含む

300人弱の1年生がうどんと希少糖入りキャラメルを手にし、香川の食文化を知ると共に香川大学の希少糖を知る機会となりました。また、当日は多くの報道機関が取材に訪れ、インタビューを受けた学生からは、「1人暮らしで、今も経済的に厳しいので、無料で食べられるというのはありがたいです」「出汁がきいていておいしい」等の声が聞かれました。7月は本企画の第二弾として、全学生を対象に学生応援カレーと題し、生協食堂のカレーを各キャンパスにて数量限定で無料提供する予定です。



うどんと希少糖入りキャラメル



うどんを手にした1年生



香川大学

KADAIGEST 2022 6



香川大学 バドミントン部

私たち香川大学バドミントン部は、男子18名、女子10名の計28名で活動しています。小学生からバドミントンをしている部員や大学から始めた部員など様々な経験の選手が在籍しています。

週3回の定期練習では、ランニングやパターン練習で体力と基礎能力の向上を図っています。しっかりと練習をしていますが厳しい部活ではなく、時には楽しい雰囲気でも試合形式のゲームを行っています。

また、県外の大会や遠征にも多く参加し、自分たちの実力を試しています。自分たちだけでレンタカーやホテルを手配するなど、大学の部活らしい経験をすることができます。また、行った先でおいしいご飯を

食べることも大会の楽しみの一つとなっています。

部員同士とても仲が良く、旅行に出かけたり家で飲み会をしたりしています。後輩は部活の後に集まって、みんなでレポートを書いているのだとか…。部活後、先輩にご飯をご馳走してもらおう事も多く、先輩とすぐ仲良くなることができます。

夏の合宿やキャンプなど、一年を通して楽しいイベントがたくさんあります。未経験者も大歓迎です！一緒にバドミントンで汗を流しましょう！気になる方は気軽にTwitterかInstagramのDMにご連絡ください。

活動場所・香川大学幸町キャンパス 第二体育館
活動時間・火、水、土、日曜日 18:00～21:00
木曜日 17:00～19:00
部員数・28名
Twitter・@kgw_univ_bdc
Instagram・@bad_kag_univer



試合を頑張った後の褒美はお肉です

創造工学部3年 平澤 尚実
岡山県立津山東高等学校出身

VOICE

創造工学部学生がデザインした 瀬戸芸記念パッケージの 「炊っこみご飯の素」が商品化

商品として採用されたデザイン。
五目、たこ、オリーブの3種類。



炊いてみると、たこがたっぷり入っていて美味しかったです。



おうちの食卓を彩るパッケージになりました。



お店の売り場に並んでいる様子。
実感が湧いて嬉しかったです。

一年生の後期に受講したデジタルグラフィックス演習は、デジタルグラフィックスの基礎理論とグラフィックス制作のための技術を習得することを目的とした授業です。私自身デジタルで何かを制作することがなかったため純粋に作ってみたかったこと、デザイン関連の仕事だけでなく社会に必要な技術であるため、学んでおきたいと思ったことが受講したきっかけです。そして、その授業の課題として、宝食品さんの「炊っこみご飯」の瀬戸内国際芸術祭2022限定パッケージをデザインさせていただきました。

この授業を通して、基本的なデジタルグラフィックスの手法や、デザインをする上での行程を学ぶことが出来ました。しかし、課題に取り組むにあたって苦戦したことは、アイデアをとにかくたくさん出すことでした。今回、炊っこみご飯のタコ、オリーブ、五目の3種類のパッケージをデザインしたのですが、1つの種類に対して最低30は案を出すということをしました。なかなか思い浮かばず手が止まってしまうことも多々あり、自分の知識量の少なさやリサーチ力のなさをとても感じさせられました。

また、初めてのデジタル制作で本当にゼロの状態からだったので、うまく自分の思った通りに描くことができず苦戦しました。ですが授業外での取り組みや、先生方のアドバイスによってなんとか完成させることが出来ました。

今回採用いただいたデザインは、遊び心と親しみやすさをコンセプトとし、一目見て印象に残ることを意識して制作しました。瀬戸内国際芸術祭に展示している作品から、イメージを取り入れることもありました。こだわりは、タコやいりこなどをそのまま描くのではなく、面白いなと思った形で取り入れることと、これまでの宝食品さんのパッケージにはなかった要素を取り入れたことです。先生からは、黒の枠線をなくす、文字を見やすくする、お椀の部分を工夫するなどのアドバイスを受け、細かい部分の修正を行いました。先生のアドバイスにより、色合いや全体的なバランス、商品のわかりやすさなどが劇的に向上しました。

実際にパッケージをデザインしてみて、とにかくアイデアをたくさん出すことと、他の人に意見をもらうことの大切さを感じました。また、多くの学生の案から選考を

経て採用されたことは、この学部で学習していることが少しずつ身になっているという自信になりました。私は、将来パッケージデザインに関わる職に就きたいと考えています。そのため、この授業は私にとってとても貴重な経験になりました。今回学んだことを活かし、自分の技術をこれからも磨き上げていこうと思いました。

創造工学部
造形・メディアデザインコース 2年 中久保 和洋
広島県 武田高等学校出身

最終選考まで残った他の学生たちのデザイン。
どれが採用されてもおかしくないくらい素晴らしい仕上がりで、参考になりたいと思うところがたくさんあります。



炊っこみご飯ぜひぜひ
食べてみてください！

